

◆◆◆ アンデパンダン展 (写真の部) ◆◆◆

入館料
無料

開催期間：9月3日(土)～10月28日(金)まで

アンデパンダンとは、本来「独立」を意味するフランス語ですが、美術用語としては「誰でも自由に出品できる無審査かつ無賞の展覧会」を指します。町民のみなさんの参加型展覧会です。ぜひご覧ください。

◆◆◆ ◆◆ ◆子どもに絵本や読書の橋を架ける連続講座◆◆◆

参加費
無料

第2講座

< 工作教室 > 『ローズウィンドウ作り』

【講 師】小笠原まき(高知市在住絵本作家)
【日 時】10月1日(土)午後2時～4時
【会 場】四万十町立図書館
【定 員】25名(大人の方が対象です)
【参加費】400円(ハサミ・カッターなどをご持参ください)
【申込み】9月20日(火)より受付開始。
図書館へお申し込みください。

紙で作る、ステンドグラス
のようなアート、ローズウィ
ンドウです



第3講座

『ストーリーテリング入門 ～聞いて楽しい! 語って楽しい! おはなし体験～』

【講 師】秋本美津
(高知市こども読書ボランティアの会 豆の木)
【日 時】10月22日(土)午後2時～4時
【会 場】四万十町立図書館 大正分館
【対 象】大人の方 【参加費】無料
【申込み】図書館へお申し込みください。

ストーリーテリングは「素話」とも言い、お話を暗唱して話すことです。絵本の読み聞かせとは違い語り手の言葉だけで、おはなしの世界が浮かびあがります。

ちゅっぴり

図書館へ新しく入った本の中からご紹介

本 館

本当は怖い「低血圧」

永田勝太郎著 / 秀和システム

「朝起きられない」「疲れやすい」など低血圧の症状は、さまざまな病気の原因となり、うつ病などに誤診されやすいです。ほかにも病気の要因となる低血圧の危険性や改善方法が紹介されています。



こんなふうには作られる!

ビル&ジム・スレイヴィン文ほか / 玉川大学出版部

ガムのもとには木からとれる樹脂と知っていますか?毎日なにげなく使っている身のまわりのもの69品がどのようにできあがるかわかる本です。



分 館

「本の寺子屋」が地方を創る

「信州おじり本の寺子屋」研究会=著 / 東洋出版

今人口減少期を迎え、高齢化が進む地方都市のなかで、図書館が担う役割とはなんでしょうか?この本では新たな役割を先取りした試みが、示唆を与えてくれます。



出発進行!里山トロッコ列車

かこさとし著 / 偕成社

四万十町にも「しまんとトロッコ」が走っていますがこの本は千葉県房総半島の古湊鉄道「里山トロッコ列車」を房総里山の自然と文化とあわせて紹介しています。



夏休みが終わるとともに、心はすっかり秋の生活へ。夏休みに借りた本を返すことも忘れがちです。返却ポストもご利用ください。

■開館時間

図書館 / 午前 9:30～午後6:00 (日曜 午前 9:00～午後5:00)
美術館 / 午前10:00～午後5:30 (日曜 午前10:00～午後4:30)

■休館日 / 月曜・祝日

四万十町立図書館・美術館 ☎22-5000
四万十町立図書館 大正分館 ☎27-1193

美術館・図書館からのお知らせ

地域おこし協力隊が行く!

皆さん、こんにちは。四万十町では現在16人の地域おこし協力隊員が活動しています。今回は、8月に着任した大塚、立花隊員の着任挨拶です。

津島 沙織



今井 深暉



菊池 祐

立花 聡子



田邊 愛



峯山 典明



浦島 卓也



小野 雄介



大塚 智裕



瀬嶋 和也



井原 理恵



鈴木 信太郎



金瑛順



野村 一将



笹倉 潤



神奈川県は川崎生まれ、横浜育ちですが、旅行で訪れた高知の風土やひとの温かさに魅了されました。なかでも、自然はもちろん、幡多と土佐が交わる土地として文化的にも豊かな四万十町に移り住むことができ、とても嬉しく思います。

前職では、大学院でキャリア教育の研究をしながら、日本語教師として外国人の方にビジネス日本語を教えていました。これまでの経験を生かし、学生のみなさんとも交流を深めながら任務を果たしていきたいです。

好きなものは、美味しいお酒とごはん、広島カープです。おすすめのお店情報をお持ちの方、カープファンの方はぜひお声がけください!

今後は「大正駅前」にぎわい拠点を中心に、地域のみなさんのご協力のもと街の活性化に励みますので、どうぞよろしくお願いいたします。

四万十町のみなさん、はじめまして。

8月1日より、大正地域担当として着任いたしました、立花聡子と申します。

主なミッションは、大正地域中心部のにぎわいづくりです。商店街の更なる魅力を掘り起し、地域のみなさんが毎日足を運びたいような場所にすること、そして町外から来られる方へのおもてなしを強化することを目指します。